

福祉のまちづくり
プランってなに？

Q

A

住民同士がそれぞれの想いや知恵を出し合いながら、地区内の「福祉のまちづくり」を考えます。話し合う中で共通の認識や目標をつくり、具体的な住民活動を計画として明らかにするものです。

なぜ必要なの？

Q

A

誰もが暮らしやすいまちとは「公的なサービス」と「住民同士の助け合い」の両方が充実しているまちです。昨今の福祉課題に対して、公的なサービスだけで全ての解決はできません。地域にはすでに住民同士の様々な助け合いの活動がありますが、それらが計画的に進むために、また足りない仕組みを補うために、地区全体として「住民同士でできること」を計画にまとめることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに繋がります。

どうやって
作ったの？

Q

A

福生西地区の住民の代表者で福祉のまちづくりプラン策定のための委員会を組織し、米子市社会福祉協議会と一緒に策定しました。第1次計画のふり返りや、子育て世代を対象としたアンケート調査などで寄せられた福祉課題をもとに話し合いを重ね、計画のテーマを「元気なこどもをはぐくむ」、「シニア世代の活躍」の2点に決定しました。テーマ毎に分科会を作って取組内容や目標を決めました。

福生西地区のみなさんへのお願い

誰もが暮らしやすいまちをつくるためには、この地区に暮らす一人ひとりの気持ちが大切です。本書を手にとられたことをきっかけに、地域の活動に少し目を向けてみてください。もしかしたら、あなたが「あたりまえ」と思っている日常の景色のなかに、福生西地区のために頑張っている人や活動の存在に気づくかもしれません。そうした活動に関心をもっていただき、ここに書かれている取組に協力していただければ幸いです。

表紙のイラストは、福生中学校 美術部のみなさんに描いていただきました。この福生西地区福祉のまちづくりプランの活動を応援する気持ちを込めて、地区を象徴する「皆生温泉の花火」、「足湯」、「登下校の見守り活動」を部員のみなさんで協力して描いてくださいました。

※本書に掲載しているイラストの無断複写・転載を禁じます。

福生西地区 福祉のまちづくりプラン

策定 福生西地区 地域福祉推進委員会

連絡先 福生西公民館 ☎0859-23-1397

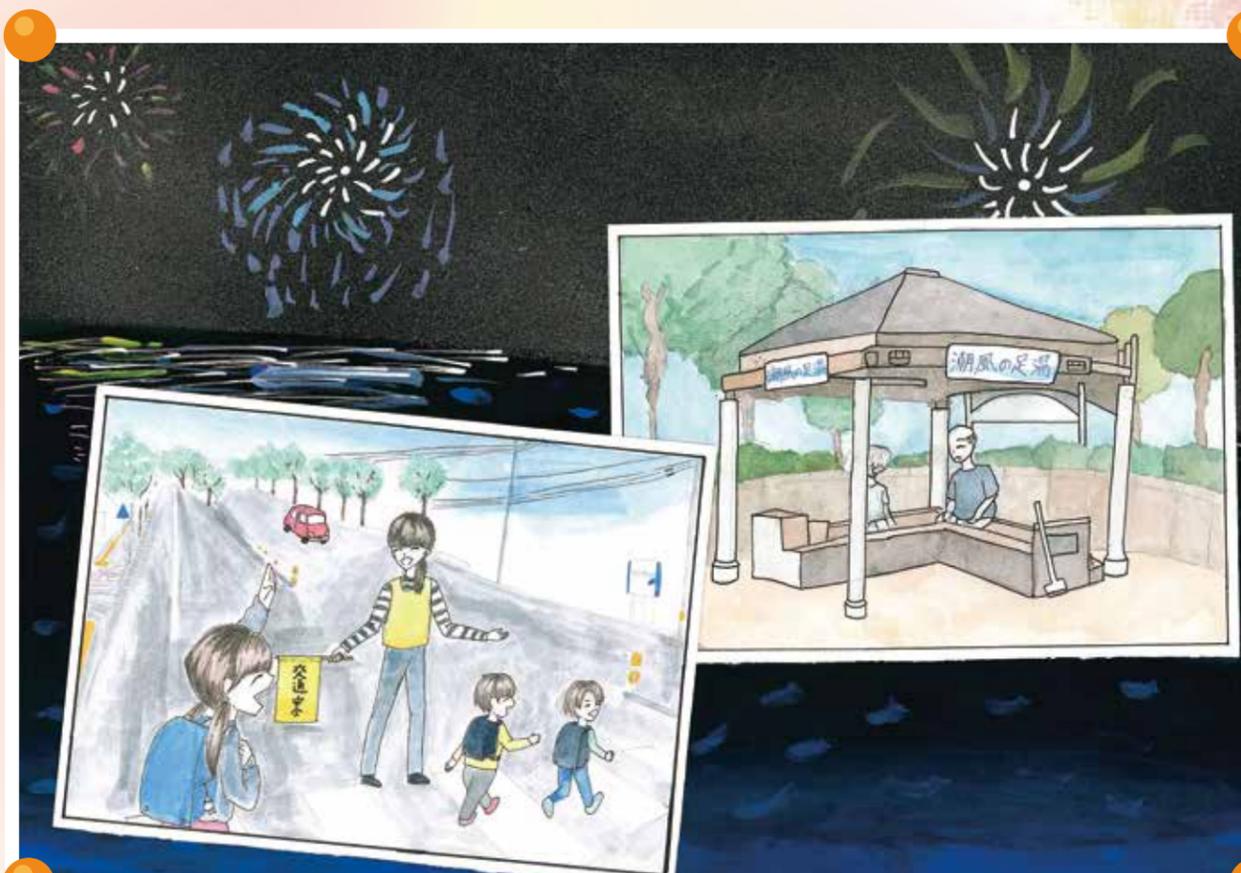
編集発行 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

福生西地区 福祉のまちづくりプラン

（第2次福生西地区地域福祉活動計画）

令和5年度～令和9年度

保存版



福生中学校 美術部 作成

福生西地区 地域福祉推進委員会 / 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

※地域福祉推進委員会は、地区社協、自治連合会、公民館等、地域で活動されている団体で構成されています

福生西地区 福祉のまちづくりプラン

で愛 ふれ愛 ささえ愛 共に生きる 福生西

元気な子どもをはぐくむ

方向性

子どもの安全確保

- 課題
- ◎子どもの見守りニーズが高い
 - ◎下校時の見守りボランティアや「防犯パトロール」のプレートをつけた自転車が減った
 - ◎防犯情報が地域で十分に共有されていない
 - ◎薄暗い中、公園で子どもだけで遊んでいるのは心配

取組内容

効率的・効果的な
見守り体制の構築

5年後の
目標

多くの住民を巻き込んだ見守り体制ができる

子どもの
居場所づくりの検討

5年後の
目標

子どもが安心して過ごせる
居場所が増える



方向性

子どもの地域でのつながりづくり

- 課題
- ◎コロナ禍で行事が無くなり、親・子ともに交流の機会が減っている
 - ◎同じ自治会でも子どもの顔が分からない
 - ◎子育てを手伝ってくれる人や、相談相手がいない
 - ◎子ども会未加入世帯が増えている



取組内容

新たな形での
行事の再開

5年後の
目標

コロナ禍前に実施していた行事が再開できている

子ども会の
活性化

5年後の
目標

子ども会未加入世帯ゼロを目指す

シニア世代の活躍

方向性

ふれあい・いきいきサロンなど、高齢者の居場所の充実

- 課題
- ◎サロン参加者、世話人の高齢化や人材不足が課題
 - ◎コロナ禍でサロンの開催が減り、体力が低下している高齢者がいる
 - ◎男性の地域活動への参加者が少ない
 - ◎活動に参加したくても、公民館まで行くことができない人もいる

取組内容

サロン活動の充実

5年後の
目標

サロンの参加者が増える

サロンの
活動内容の周知

5年後の
目標

自治会との連携が深まる



方向性

高齢者の孤立防止

- 課題
- ◎一人暮らし、高齢者世帯が多く、地域活動に参加しない人もいるため孤立化が心配
 - ◎孤独死等が起きないか心配
 - ◎大雪の時、高齢者宅の雪かきや生存確認が難しい
 - ◎困っていても、自分から声を上げない高齢者との関わりが難しい

取組内容

見守りが必要な
高齢者の情報共有を
進める

5年後の
目標

自治会長、民生委員、在宅福祉員の
連携が深まる

高齢者が交流する
機会を増やす

5年後の
目標

1年に1つずつ高齢者が参加する行事ができる

